



さわら

人口: 211,355人
男 100,144人 女 111,211人

世帯数: 90,819世帯
(平成21年4月1日現在推計)

早良区役所電話番号案内
TEL 841-2131
〒814-8501 早良区百道二丁目1-1
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/sawara/>
入部出張所
TEL 804-2011
〒811-1102 早良区東入部二丁目14-8

今号から早良区版を拡大し、毎月15日号は15、16面に掲載します。

期=日時 所=場所 対=対象 定=定員 料=料金、費用 持=持参 託=託児 問=問合せ ☎=電話番号 F=ファクス 申=申込み 開=開館時間 休=休館日

本年度はここに力を入れます 早良区の主な事業を紹介

平成21年度の予算も決まり、区役所の事業がスタートしました。そのうち、今年度から新たに始まる3事業を紹介しましょう。

校区安全・安心 まちづくりの推進

地域でウォーキングや犬の散歩をしながら、子どもの登下校時の安全などを守るパトロールを行ってもらう事業です。

ウォーキングで健康づくりを行うと同時に、犯罪を寄せ付けないまちをつくるため、多くの人が参加してほしい取り組みです。

緑のカーテン

公民館などでアサカオヤゴイヤなどを栽培し、「緑



涼しげな市民センターの緑のカーテン(昨年)

のカーテン」による省エネを呼び掛けます。植物によってできる日陰や、葉が水蒸気を放出すること(蒸散)により、屋内の冷房効果が上がって二酸化炭素削減にもつながります。

さわらの魅力づくり

区内の自然や名所、伝統行事などの魅力や区の取り組みを、ラジオや情報誌などを通じて発信します。その取り組みの一つとして、伝統行事や農作物の収穫の機会が多い秋に焦点を当て、区内の見どころを紹介する地図『さわらの秋』を制作する予定です。

などでも「緑のカーテン」に取り組みしてみませんか。



また、区内に伝わる民話を調査して紙芝居を作製し、公民館などに配布。本紙でも6月1日号から毎月1日号で、「民話をたずねて」と題して物語を紹介していきます。

区の取り組みに ご期待ください

今号で紹介した事業のほか、区の主な事業などを掲載したリーフレットを、区役所1階の「早良区情報プラザ」で配布しています。問合せは、区総務企画課(☎833-4306 F851-2680)へ。

僕の名前は**ぴかりん**です!

区安全・安心キャラクター愛称決定

区は、防犯や交通安全マナーの向上を呼び掛けるキャラクター(左イラスト)の愛称を「ぴかりん」に決定しました。



裏面(15面)に参加募集・保健福祉センターだよりなどのお知らせ記事を掲載しています。

夜道を明るく照らすホタルをモチーフにしたキャラクターを1月に決定し、愛称を公募。181件の応募の中から選ばれました。名付け親の土松千晴さん(39)は「お尻の光が印象的だったので、この名前を付けました。優しい光で安全なまちづくりに貢献してほしい」と話しています。

四箇田 校区の植物図鑑を作りました

自然を子どもたちに伝えたい



四箇田校区史誌編さん委員会の皆さん(前列右から2番目が新原さん)が完成した『私の住んでる四箇田』を昨年制作。今年度は子どもが楽しめる物を作る」と同図鑑を製作したもので、近隣の小・中学校などに配布しています。

四箇田校区内に生えている野草や、栽培されている野菜など約200種を写真で紹介する植物図鑑『四箇田にある植物』が完成しました。同校区の住民10人で組織

する「四箇田校区史誌編さん委員会」が、校区に愛着を持ってもらうようと、歴史や文化などをまとめた『私の住んでる四箇田』を昨年制作。今年度は子どもが楽しめる物を作る」と同図鑑を製作したもので、近隣の小・中学校などに配布しています。

お知らせ

特定計量器の定期検査

特定計量器の定期検査を下表の日程で行います。対象は商店や事業所で取引・証明用(農業、漁業も含む)に使用している「はかり・おもり」です。検査手数料は、指示はかり(能力100kg以下)が500円、台手動はかりが550円~1,600円程度です。大型計量器(能力1t以上)で持ち運びができない場合は出張検査を行います。計量検査所(☎524-0231 F524-0299)へ。

日程	場所	時間
5/20(水)	原北小学校	10:30 ~ 15:00
5/21(木)	百道小学校	
5/22(金)	西新公民館	
5/26(火)	早良市民プール	
5/27(水)	原小学校	11:00 ~ 15:00
5/28(木)	原西小学校	
5/29(金)	田隈公民館	11:00 ~ 15:00
6/2(火)	福岡市農協 入部支店	
6/3(水)	福岡市農協 脇山支店	
6/4(木)	内野小学校	

地域活動の拠点に 内野公民館 曲測分館が完成



内野公民館曲測分館(大字曲測700-1)が完成しました。今まで曲測校区に公民館がなかったため、地域活動と生涯学習の拠点として、老人いこいの家を併設し新設したものです。隣には八丁川が流れ、テラスに出ると清流のせせらぎを聞くことができます。曲測校区自治協議会の牛尾利幸会長(69)は「明るい空間で地域の活動や趣味を楽しんでほしい。多くの人に利用してもらえれば」と呼び掛けています。問合せは、内野公民館(☎804-8512 F804-8514)へ。

歴史のソムリエ



第十一話 有田遺跡群と阿蘇火砕流

この台地は、熊本県阿蘇山が約9万年前に噴火したときの火砕流でできています。九州の約半分を覆ったと推定される大規模な火砕流は福岡市域にも広がり、平原を形成



有田遺跡群に残された環溝の断面

た。その痕跡は有田遺跡群として残り、200回を超える発掘調査によって、それぞれの時代の様子が明らかにしつつあります。弥生時代の初めには、中心的な農耕集落がいち早く営まれました。集落の周りには溝(環溝)が巡り、その規模は南北300m、東西200mに及ぶ大規模なものです。環溝の深さは2mもあり、集落の防壁などのために作られたと考えられています。上の写真の黒い土が弥生時代の溝の痕跡、黄色い部分は地盤となる阿蘇の火砕流です。(博物館学芸員 池田祐司)